I·O DATA

B-MANU201912-01

BRD-S16X 取扱説明書

この度は、お買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に[本書]をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

動作環境の確認

対応機種[※1][※2]	本製品が取付可能なドライブベイ（5インチベイ）とSerial ATAインターフェイス[※3]を搭載したDOS/V
対応OS	Windows 8(32/64ビット版)、Windows 7(32/64ビット版)、 Windows Vista Service Pack 2以降（32ビット版のみ）、Windows XP Service Pack 3以降
搭載CPU	Intel Core 2 Duo E6400(2.13GHz)以上またはAMD Athlon 64 X2 3800+2.0GHz以上
メモリー	1GB以上
グラフィックアクセラレータボード[※4]	以下のいずれかのグラフィックアクセラレータボード ･NVIDIA社製GeForce 8400GS以上　･AMD社製Radeon HD 2400以上 Intel HD Graphics以上 (Windows 8のみ)･Intel GMA X 4500HD（Windows 7/Windows Vistaのみ）
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度 （HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載）
ハードディスク空き容量	30GB以上 (Blu-ray映像編集時は60GB以上推奨)
その他	インターネット接続環境
対応メディア[※5]	●BD：BD-R、BD-RE[※6]、BD-ROM ●DVD：DVD+R[※7]、DVD+RW、DVD-R[※8]、DVD-RW、DVD-RAM[※9]、DVD-ROM ●CD：CD-R、CD-RW、CD-ROM

[※1] より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

[※2] チップセット：i945以上またはAMD780以上が必要です。

[※3]
- ●Intel 915以降のチップセット、ICH6以降を搭載したパソコンに対応しております。
- ●増設されたSerial ATA接続インターフェイスには対応しておりません。
- ●本製品にはSerial ATAケーブル及びSerialATA電源ケーブルは添付しておりません。パソコン本体に添付されていない場合は別途ご用意ください。

[※4] グラフィックアクセラレータボードは以下の条件を満たしている必要があります。
- ●PCI-Express接続
- ●ビデオメモリー256MB以上を搭載
- ●HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載
- ●COPPに対応している最新のドライバーがインストールされていること
- ●最新のドライバーがインストールされていること

[※5]
- ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。
- ●BD･DVD･CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

[※6] カートリッジタイプのBD-REメディアには対応しておりません。

[※7] 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みをおこなった場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

[※8] 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

[※9] カートリッジから取り出し不可能なメディア（TYPE I）および2.6GB/面のメディアには対応しておりません。

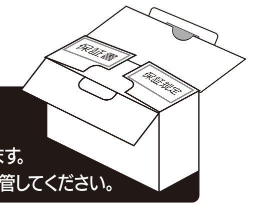
製品仕様

インターフェイス仕様	Serial ATA
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直は12cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
書き込みエラー回避機能	搭載
CPRM対応	○（読み込み/書き込み）
電源仕様	DC +5V±5%、+12V±10%
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%～80%（結露なきこと）
外形寸法	146(W)x165(D)x41.3(H)mm (ベゼルを除く)
質量	約700g

使用上のご注意

- ●本製品はドライブベイ（5インチベイ）搭載タイプです。ドライブベイに空きが無い場合は、あらかじめ搭載済みのドライブを取り外す必要があります。
- ●取り付け後、フロントパネルが操作可能な機種でご使用いただけます。
- ●本製品で書込みをおこなったBDメディアは、カートリッジタイプのBD-REメディアを使用するレコーダーでは使用できません。
- ●BD-R、BD-RE、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアで作成したBD･DVDビデオは、既存のプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- ●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。
- ●アクセスランプの点灯/点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
- ●お使いのパソコンによってはBIOS設定が必要です。本製品が認識されない場合は、パソコンのBIOSを確認してください。パソコンのBIOSの設定方法はパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ●Serial ATAインターフェイスをRAIDモードで設定しないでください。
- ●本製品を長時間使用した場合は、いったんメディアを取り出し、数分おいてから書き込みをおこなってください。

ハードウェア保証書について



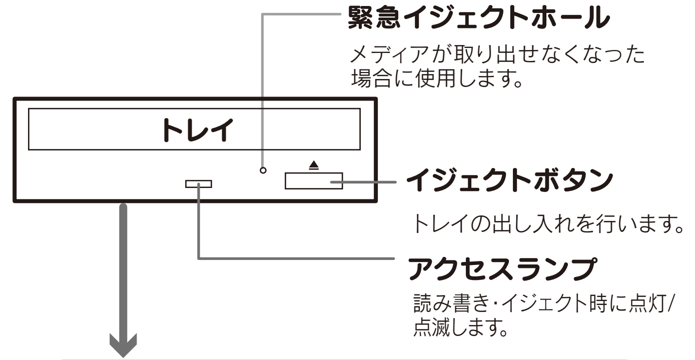
「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

各部の名称･機能

ご注意

- ●アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
- ●本製品はクラス1レーザー製品です。レーザー光線による視力障害の原因となることがありますので、絶対に本製品を分解したり、修理、改造しないでください。
- ●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。

ドライブ前面



緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

イジェクトボタン
トレイの出し入れを行います。

アクセスランプ
読み書き･イジェクト時に点灯/点滅します。

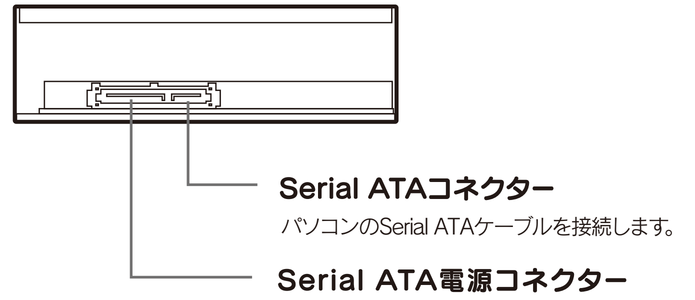
シリアル番号(S/N)をメモします

シリアル番号(S/N)は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。(例：ABC1234567XX)
シリアル番号(S/N)を下の枠にメモしてください。

シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。

ファームウェア等のダウンロード　http://www.iodata.jp/lib/
ユーザー登録　http://www.iodata.jp/regist/

ドライブ背面



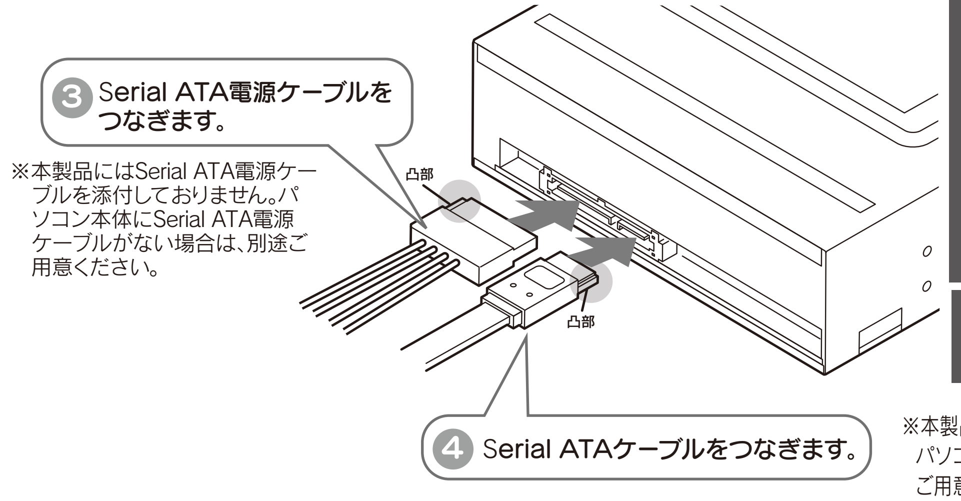
Serial ATAコネクター
パソコンのSerial ATAケーブルを接続します。

Serial ATA電源コネクター

接続しよう

① パソコンの電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

② パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
ルーフカバー、5インチベイのカバーについてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。



③ Serial ATA電源ケーブルをつなぎます。

※本製品にはSerial ATA電源ケーブルを添付しておりません。パソコン本体にSerial ATA電源ケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

④ Serial ATAケーブルをつなぎます。

※本製品にはSerial ATAケーブルを添付しておりません。パソコン本体にSerial ATAケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

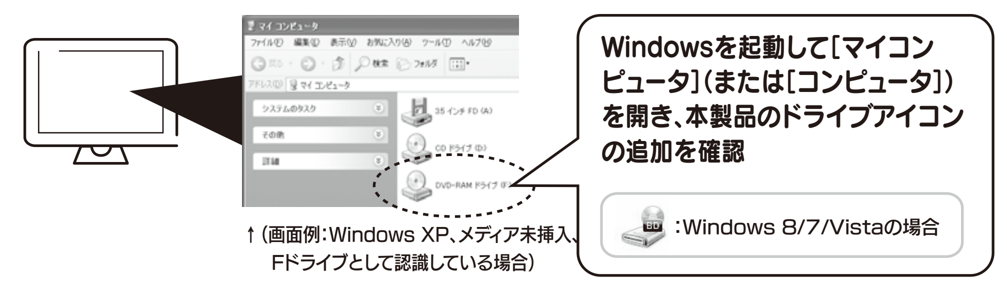
ご注意
ケーブルには向きがあります
Serial ATAケーブルの凸部が右側、Serial ATA電源ケーブルの凸部が左側になるように挿入します。
逆向きでは挿し込めないようになっていますが、無理に挿し込もうとすると、コネクターが破損します。
※パソコンによってSerial ATAケーブルの形状が下図と若干異なる場合があります。Serial ATAケーブルであれば仕様は同じですので、凸部の向きにだけご注意いただき、ご使用ください。

ご注意
ケーブルを抜き挿しするときは、ケーブル部分を引っ張らないでコネクターを持って抜き挿ししてください。

⑤ 添付のネジで本製品を固定します。
パソコンによって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

⑥ パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

⑦ 正常に使用できるかを確認します。



↑（画面例：Windows XP、メディア未挿入、Fドライブとして認識している場合）

Windowsを起動して[マイコンピュータ]（または[コンピュータ]）を開き、本製品のドライブアイコンの追加を確認

：Windows 8/7/Vistaの場合

ご注意
- ●ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。
- ●ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。（例：Windows XPで空のDVD-Rメディアを挿入すると「CD-ROM」と表示されます。）

アイコンが追加されていない場合

- ●[表示]メニューの[最新の情報に変更]をクリックしてみてください。
- ●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、ケーブルを抜き挿ししてください。）
- ●「画面で見るマニュアル」を開いてQ&Aをご覧ください。

アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。
【用途にあわせて添付ソフトウェアをインストールしよう】へお進みください。

用途にあわせて添付ソフトウェアをインストールしよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択します

再生したい	BD/DVDビデオを作りたい	データを保存したい	
Corel WinDVD Corel	ROXIO CREATOR Corel	nero 12 ESSENTIALS Nero	
		ファイル管理ソフト 『Nero Kwik Media』	データライティングソフト 『Nero Express Essentials』
以下の映像を再生することができます。 ●作成したオリジナルブルーレイディスクやDVDの映像 ●市販のブルーレイディスクやDVDの映像 ※既に「WinDVD」がインストールされている場合には、必ずアンインストールしてから本製品添付の「WinDVD 10 BD」をインストールしてください。	ブルーレイディスクに映像ファイルを書き込んだり、DVDビデオを作成する際に使用します。また、デジタルビデオカメラから直接レコーディングする際に使用します。 ※既にコーレル社製「ROXIO CREATER」がインストールされている場合は、必ずアンインストールしてから本製品添付の「ROXIO CREATER」をインストールしてください。	音楽、画像、動画を統合管理するソフトウェア。各ファイルをサムネイル表示で管理して、画像の表示、動画や音楽の再生ができます。	データディスクや音楽CDなどを、このソフトウェア一つで簡単に作成することができます。
		『Nero 12 Kwik Burn Express Essentials』をインストールすると、上記2つのユーティリティがインストールされます。 ※「Nero 12 Kwik Burn Express Essentials」のインストールでは、インストールの途中でパソコンの再起動が必要となる場合があります。この場合、再起動後もインストール作業は続行されますので、ご注意ください。	

用途に応じて選択した添付ソフトウェアをインストールします

① 添付のDVD-ROMを本製品に挿入します。
※ Windows 7/Vista®でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]（[許可]）をクリックしてください。

② メニューが表示されたら[インストールする]をクリックします。

③ インストールしたいソフトをクリックします。

④ 画面の指示にしたがって、インストールします。インストール中にそれぞれのシリアル番号/CD-Keyが自動的に入力されますので、あらためて入力しなおす必要はありません。

⑤ インストール終了後、メニュー画面を終了するには[EXIT]ボタンをクリックします。再起動をうながす画面が表示された場合は、再起動してください。

以上でインストールは完了です。本紙裏面にソフトウェアの注意事項や、簡単な使用例を紹介しております。
詳しい操作については『画面で見るマニュアル』をご参照ください。

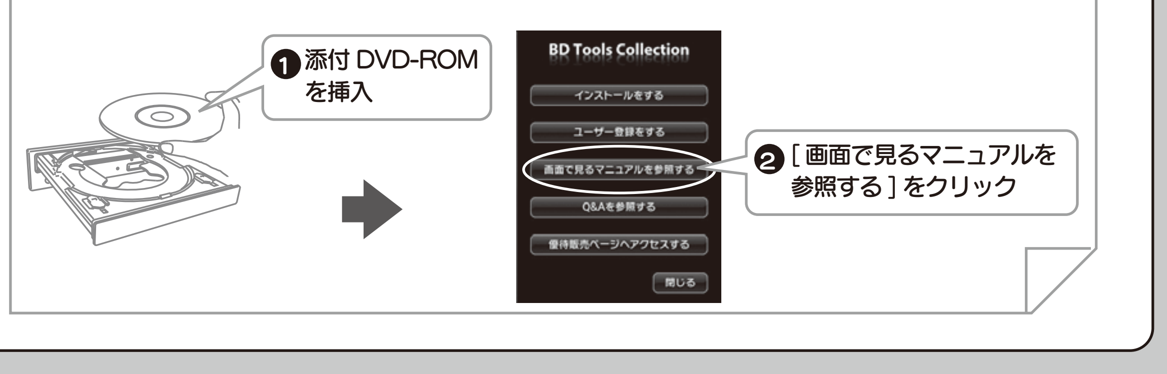
AACSキーについて

ブルーレイディスクやAVCRECでは著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために著作権保護技術『AACS』を採用しています。ブルーレイディスクやAVCRECを継続的にお使いいただくために、定期的に『AACSキー』を更新してください。
『AACSキー』は再生ソフトウェアからのメッセージにしたがい更新します。（インターネット接続環境が必要です。）
更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの再生ができなくなる可能性があります。（著作権保護されていないコンテンツの再生は可能です。）
今後、AACSキーの提供についての情報は、当社サポートページにてお知らせいたします。
http://www.iodata.jp/support/

●添付ソフトウェアのシリアル番号

WinDVD 10 BD：[redacted]
Roxio Creater：[redacted]
Nero 12 Essentials ：[redacted]
※インストール時には異なる番号が自動的に入力されますが、問題ありません。

○ 画面で見るマニュアルの開き方



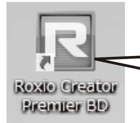
❶ 添付 DVD-ROMを挿入

❷ [画面で見るマニュアルを参照する] をクリック

ブルーレイディスクに映像を保存しよう

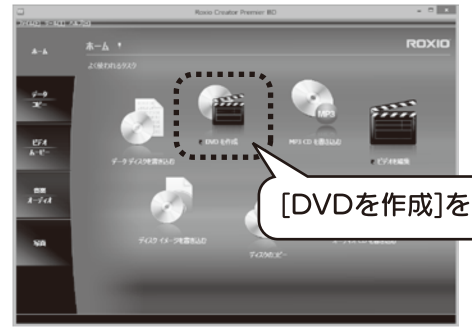
例：ハードディスクに保存したAVCHD映像をBlu-rayに保存する場合

❶


Roxio Creator Premier BD

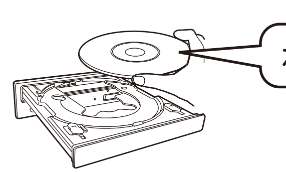
[Roxio Creator Premier BD]をダブルクリック

❷


Roxio Creator Premier BD
ホーム
ROXIO
よく使われるタスク
データ コピー
ビデオ ムービー
音楽 オーディオ
写真
データ ディスクを書き込み
DVD を作成
MP3 CD を書き込み
ビデオを編集
ディスク イメージを書き込み
ディスクのコピー

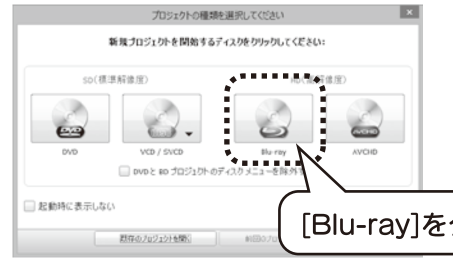
[DVDを作成]をクリック

❸



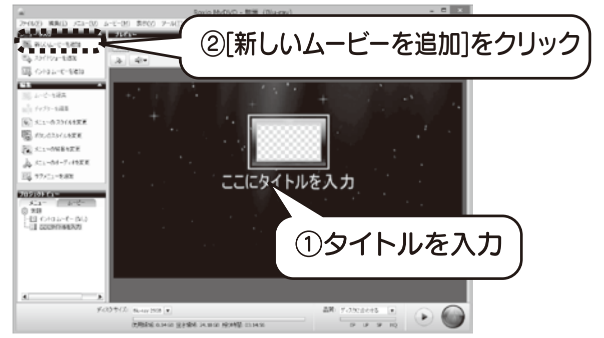
本製品にメディアを入れる

❹


プロジェクトの種類を選択してください
新規プロジェクトを開始するディスクをクリックしてください:
SD(標準解像度)
HD(高解像度)
DVD
VCD / SVCD
Blu-ray
AVCHD
DVD と BD プロジェクトのディスクメニューを除外
起動時に表示しない
既存のプロジェクトを開く

[Blu-ray]をクリック

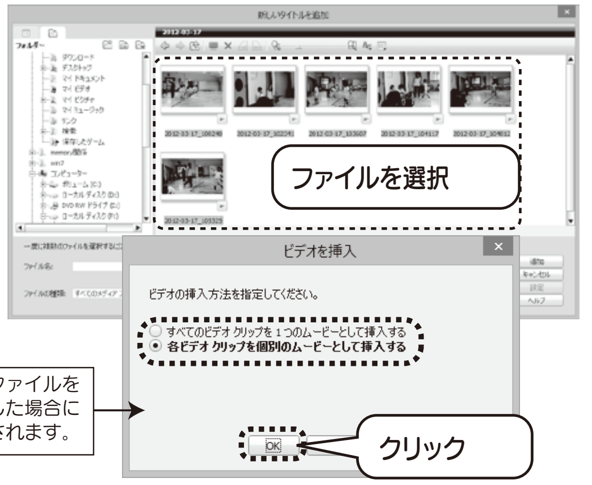
❺


ここにタイトルを入力

②[新しいムービーを追加]をクリック

①タイトルを入力

❻


新しいタイトルを追加
2012-03-17
2012-03-17_100248
2012-03-17_102341
2012-03-17_103607
2012-03-17_104117
2012-03-17_104612
2012-03-17_105325
ビデオを挿入
OK

ファイルを選択

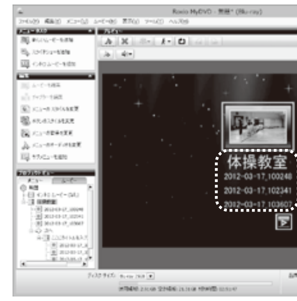
ビデオの挿入方法を指定してください。

○ すべてのビデオ クリップを 1 つのムービーとして挿入する
● 各ビデオ クリップを個別のムービーとして挿入する

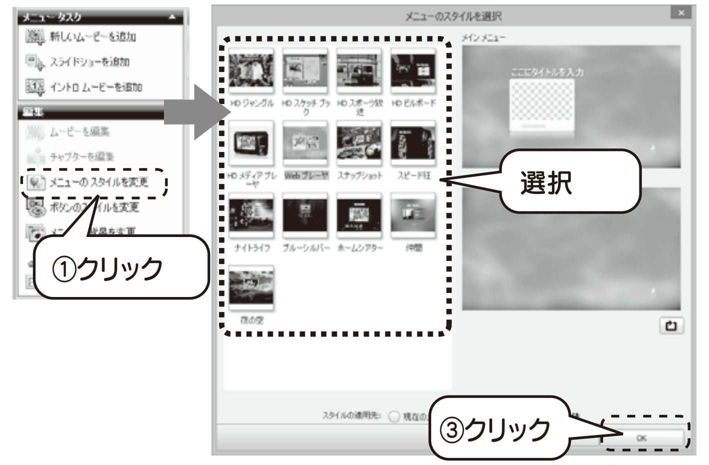
複数ファイルを選択した場合に表示されます。

クリック

❼ 選択したファイルが表示されます。


体操教室
2012-03-17_102248
2012-03-17_102341
2012-03-17_103607

❽ [メニューのスタイルを変更]をクリックし、お好みのスタイルを選択し、[OK]ボタンをクリックします。


メニュー タスク
新しいムービーを追加
スライドショーを追加
イントロ ムービーを追加
編集
ムービーを編集
チャプターを編集
メニューの スタイルを変更
ボタンのスタイルを変更
メニューのスタイルを選択
メイン メニュー
HD ジャングル
HD スケッチ ブック
HD スポーツ放送
HD ビルボード
HD メディア プレーヤ
Web プレーヤ
スナップショット
スピード狂
ナイトライフ
ブルーシルバー
ホームシアター
仲間
夜の空
ここにタイトルを入力
OK

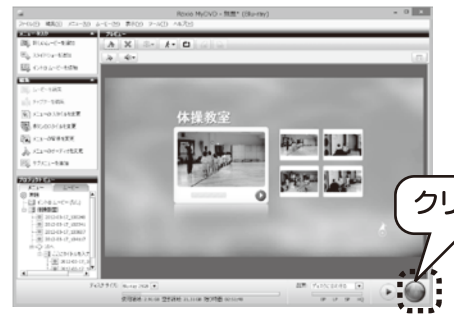
①クリック

選択

③クリック

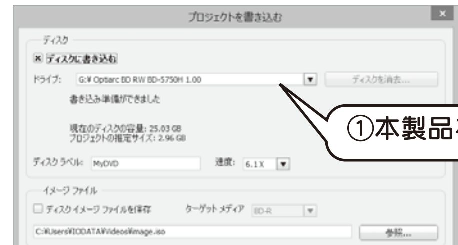
●詳しい使い方は[Roxio Creator Premier BD]のヘルプをご参照ください。

❾



クリック

❿



プロジェクトを書き込む

ディスク

☒ ディスクに書き込む

ドライブ： G:¥ Optiarc BD RW BD-5750H 1.00

書き込み準備ができました

現在のディスクの容量: 25.03 GB
プロジェクトの推定サイズ: 2.96 GB

ディスク ラベル: MyDVD 速度: 6.1X

イメージ ファイル

☐ ディスク イメージ ファイルを保存 ターゲット メディア BD-R

C:¥Users¥IODATA¥Videos¥image.iso

フォルダー セット

☐ フォルダー セットを作成

C:¥Users¥IODATA¥Videos

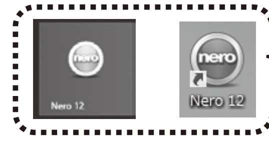
①本製品を選択

②[書き込み]をクリック

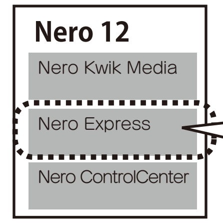
⓫ 書き込み完了画面が表示されたら、完了です。 ……›完成!

ブルーレイディスクにデータを保存しよう

❶

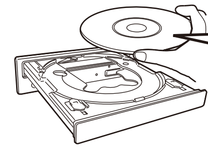

Nero 12
Nero 12

[Nero 12]をダブルクリック


Nero 12
Nero Kwik Media
Nero Express
Nero ControlCenter

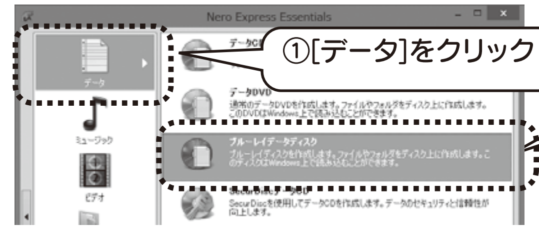
[Nero Express]をクリック

❷



書き込み先メディアを挿入

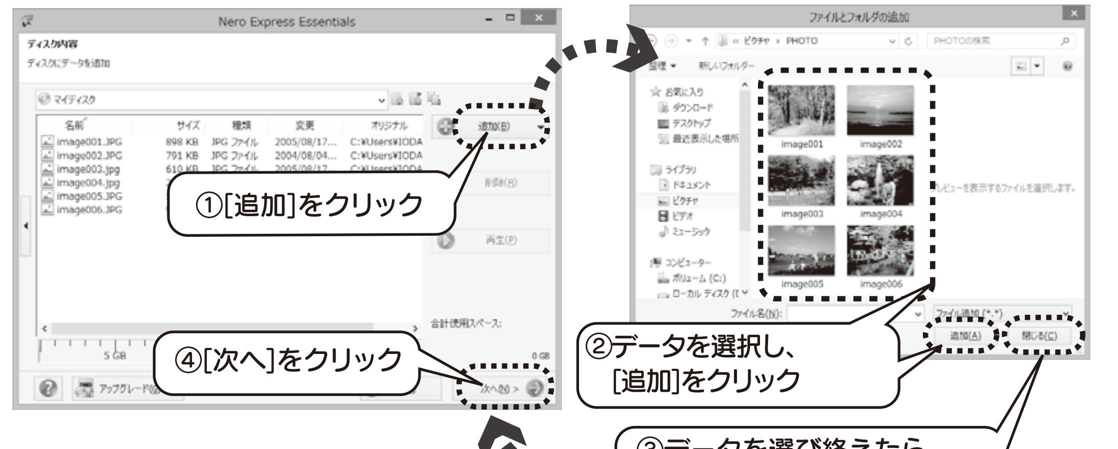
❸


Nero Express Essentials
データ
ミュージック
ビデオ
データDVD
ブルーレイデータディスク
SecurDisc

①[データ]をクリック

②[ブルーレイデータディスク]をクリック

❹


Nero Express Essentials
ディスク内容
ディスクにデータを追加
マイディスク
追加(B)
削除(R)
再生(P)
合計使用スペース:
次へ(N)
アップグレード
ファイルとフォルダの追加
ピクチャ › PHOTO
image001
image002
image003
image004
image005
image006
追加(A)
閉じる(C)

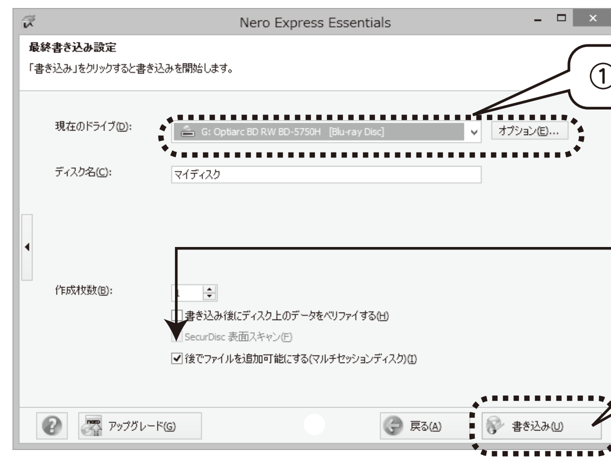
①[追加]をクリック

②データを選択し、[追加]をクリック

③データを選び終えたら[閉じる]をクリック

④[次へ]をクリック

❺



Nero Express Essentials

最終書き込み設定

「書き込み」をクリックすると書き込みを開始します。

現在のドライブ(D): G: Optiarc BD RW BD-5750H [Blu-ray Disc]

ディスク名(C): マイディスク

作成枚数(B): 1

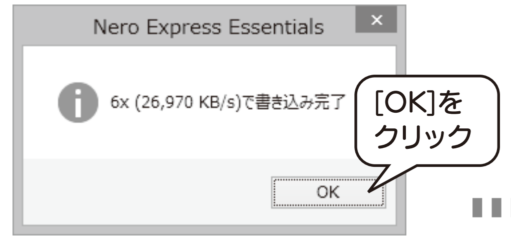
☐ 書き込み後にディスク上のデータをベリファイする(H)
☐ SecurDisc 表面スキャン(F)
☑ 後でファイルを追加可能にする(マルチセッションディスク)(I)

①[現在のドライブ]に本製品を選択

※「後でファイルを追加可能にする（マルチセッションディスク）のチェックをつけておくと、以後もファイルの追記が可能です。

②[書き込み]をクリック

❻



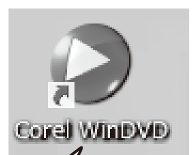
Nero Express Essentials

6x (26,970 KB/s)で書き込み完了

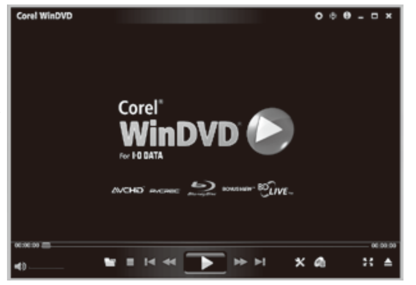
[OK]をクリック

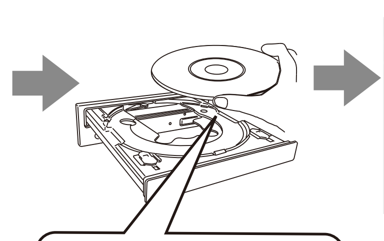
……›完成!

ブルーレイディスクを再生しよう



[Corel WinDVD]をダブルクリックします。


Corel WinDVD
Corel WinDVD for I-O DATA



再生するブルーレイディスクを挿入します。

自動的にスタートします。

CPRM技術で録画されたDVDを初めて再生するには…

認証手続きが必要です。
詳しくは本製品の「画面で見るマニュアル」内、【Blu-ray/DVDビデオを再生しよう】をご覧ください。（添付DVD-ROMのメニューより[画面で見るマニュアルを読む]をクリックし、起動します。）

Nero Express Essentialsを使用する際のご注意

- ●本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- ●省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- ●マルチセッション・マルチボーダー(セッション単位でデータを追記することです。)記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「Nero Express」を起動し、「拡張メニュー」の[ディスク情報]から使用済み容量をご確認ください。
  エクスプローラの[ファイル]メニューの[プロパティ]を選択すると表示される"使用領域"ではOSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。
- ●2層DVD±Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。
- ●一度でも書き込みに失敗したBD-R/DVD+R/-R/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したBD-RE/DVD+RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアは「Nero Express」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。なお、書き込みに失敗したメディアの保証はいたしておりません。
- ●BD-RE/DVD+RW/-RW/-RAM、CD-RWメディアの消去（初期化）は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。
- ●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。
- ●「Nero Express」が対応していないDVD/CDドライブの場合は、読み込み元ドライブ（コピー元）としてご利用いただくことができません。
  本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。 ※本製品添付DVD-ROMに収録されているソフトウェアは本製品にのみ対応しております。
- ●音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。

ROXIO Creater、WinDVD 10 BDを使用する際のご注意

- ●本製品のDVDのリージョンコードは、出荷時状態で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。
- ●以下の場合にインターネット接続環境が必要です。
  - ・WinDVDインストール時のソフトウェア有効化手続きの際
  - ・CPRM技術で録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生する場合※
- ●Windows Vista®およびWindows XP環境でCPRM技術で録画されたDVDメディアを再生する場合※は、以下の環境を満たしている必要があります。

≪グラフィックアクセラレータボード≫
- ・PCI-Express接続
- ・最新のドライバがインストールされていること
- ・HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載

≪ディスプレイ≫
- ・HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載

※操作手順については本製品の「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

困ったときには

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。 また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

CREATOR で困ったら…

❶ **ソフトウェアを起動し、ヘルプを確認する。**

❷ **ホームページでサポート情報を見る。**
http://www.corel.jp/support/

それでも解決しなかったら

❸ **サポートに問い合わせる。**

コーレルサポートセンター

TEL 0570-003-002

受付時間… 10:00～12:00/13:30～17:30
月～金曜日(土日祝祭日ならびにコーレル社指定休業日を除く)

※お問い合わせの際にシリアル番号が必要な場合があります。
シリアル番号は、[用途にあわせて添付ソフトウェアをインストールしよう]の[添付ソフトウェアのシリアル番号]にてご確認ください。

http://www.corel.jp/support/

●E-Mail:上記URLに掲載されている専用のメールフォームにてお問い合わせください。

WinDVD で困ったら…

❶ **ソフトウェアを起動し、ヘルプを確認する。**

❷ **ホームページでサポート情報を見る。**
http://www.corel.jp/support/

それでも解決しなかったら

❸ **サポートに問い合わせる。**

コーレルサポートセンター

TEL 0570-003-002

受付時間… 10:00～12:00/13:30～17:30
月～金曜日(土日祝祭日ならびにコーレル社指定休業日を除く)

※お問い合わせの際にシリアル番号が必要な場合があります。
シリアル番号は、[用途にあわせて添付ソフトウェアをインストールしよう]の[添付ソフトウェアのシリアル番号]にてご確認ください。

http://www.corel.jp/support/

●E-Mail:上記URLに掲載されている専用のメールフォームにてお問い合わせください。

nero 12 ESSENTIALS で困ったら…

❶ **ソフトウェアを起動し、ヘルプを確認する。**

❷ **ホームページでサポート情報を見る。**
http://www.nero.com/jpn/support.html

それでも解決しなかったら

❸ **サポートに問い合わせる。**

株式会社Nero

TEL 045-910-0255

受付時間… 10:00～12:30/13:30～17:00
月～金曜日(土日祝、特定休業日は除く)

※お問い合わせの際にシリアル番号が必要な場合は、[用途に応じて添付ソフトウェアをインストールしよう]の[添付ソフトウェアのシリアル番号]にてご確認ください。

http://www.nero.com/jpn/support.html

●E-Mail:上記URLに掲載されている専用のメールフォームにてお問い合わせください。

ブルーレイドライブ本体 で困ったら…

❶ **画面で見るマニュアルのQ&Aを確認する。**

❷ **ホームページでサポート情報を見る。**

●製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/

●最新サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決しなかったら

❸ **サポートに問い合わせる。**

株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター

TEL 050-3116-3020

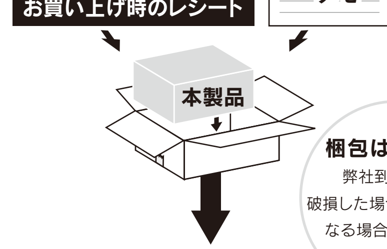
※受付時間 9：00～17：00 月～金曜日（祝祭日をのぞく）

FAX 076-260-3360

インターネット：
http://www.iodata.jp/support/

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。


ハードウェア保証書または
お買い上げ時のレシート
メモ
本製品

●氏名 ●住所
●電話番号 ●FAX 番号
●メールアドレス ●症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

梱包は厳重に!
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

宅配便で送付
紛失をさけるため宅配便でお送りください。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- ●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
- ●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。（見積無料）
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- ●内部にデータが入っている製品の場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップをおこなってください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- ●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- ●保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- ●修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
6) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
7) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】
- ●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- ●Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国または他国における Microsoft Corporation の登録商標です。
- ●Windows 8、7、Vista、XP は、それぞれ Windows® 8、Windows® 7、Windows Vista®、Windows® XP operating system の略称として表記しています。
- ●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

【本製品の廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/